

他館の展覧会情報

静岡市美術館 東海道の美 駿河への旅 2月11日(土)～3月26日(日) 10:00～19:00(最終入場18:30) ※月曜休館
観覧料 | 一般 1,300(1,100)円 / 大高生・70歳以上 900(700)円 / 中学生以下無料 ※0は前売り
会場・問合せ | 静岡市美術館 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3階 / 電話 054-273-1515

静岡市東海道広重美術館 家康と東海道 ～どう描いた広重～ 1月24日(火)～4月2日(日) 9:00～17:00(最終入場16:30) ※月曜休館
入館料 | 一般 520円 / 大高生 310円 / 小・中学生 130円
会場・問合せ | 静岡市東海道広重美術館 静岡市清水区由比 297-1 / 電話 054-375-4454

相互特典 ●受付期間 1/13(金)～4/2(日)
東海道広重美術館 ▶静岡市歴史博物館の半券提示で入館料割引 / 静岡市歴史博物館 ▶東海道広重美術館の半券提示で粗品プレゼント

毎週末開催中!静岡の歴史スポットを紹介する しずれきガイドツアー 

歴史博物館を起点に、静岡市街の歴史スポットをめぐるオリジナルツアーを開催しています。ガイドスタッフの解説で、意外な歴史エピソードや、歴史上の人物と土地のゆかりを発見してみませんか。
今年度は下記の5コースをご用意。いずれも行程約2km、約1時間半の行程です。
ぜひ、お散歩気分でご参加ください。

- 1 家康の城「駿府城」コース
- 2 家康と駿府コース
- 3 山科言継が見た!今川氏と駿府コース
- 4 町人のまち、駿府九十六ヶ町コース
- 5 大政奉還、徳川と静岡の絆コース

日時 | 各土曜日・日曜日・祝日 10:00 / 13:30に出発
参加費 | 無料
人数 | 各回定員10人

事前予約制 お電話で静岡市歴史博物館へ申込 ▶ 054-204-1005
各回とも前月最初の開館日に受付開始(申込順)
●各回の実施コースは月ごと変わります(当館HPで確認できます)。詳しい内容、行程などはお問い合わせください。

トピック展示

第81期 A級順位戦最終局 関連企画
将棋の家元 大橋家
2023年2月25日(土)～3月5日(日)

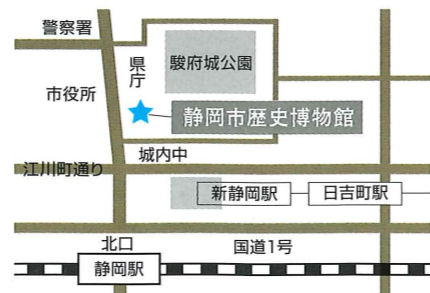
将棋・第81期A級順位戦最終局の静岡開催に合わせて、県内の旧家に伝わる江戸時代の歴代名人の記録や、当時考えられた詰将棋などを展示します。
※基本展示観覧料でご覧いただけます。



初代大橋宗桂画像
井岡伸行氏所蔵 徳島城博物館写真提供

静岡市歴史博物館 Shizuoka City Museum of History

指定管理者 公益財団法人静岡市文化振興財団
〒420-0853 静岡市葵区追手町4番16号 TEL.054-204-1005
[開館時間] 9:00～18:00 ※1/13は開館時間が14時になります。
[休館日] 月曜日(祝日の場合は開館、翌平日休館)、年末年始
[基本展示] 一般 600円 / 高校生・大学生・市内70歳以上 420円 / 市外小・中学生 150円
[観覧料] ※団体割引等あり
[アクセス] ○JR静岡駅北口から徒歩15分 ○タクシーで約10分 ○駿府浪漫バス(10番乗り場)で「東御門」下車すぐ
○静岡鉄道「新静岡駅」から徒歩8分 ○しずてつジャストラインバス「県庁・静岡市役所葵区役所」下車徒歩6分



https://scmh.jp

©Shizuoka City Museum of History All Rights Reserved.

日時指定予約 ●1/13(金)～18(水)分の予約は、12/24(土)10:00から受付。●1/19(木)以降分は、各日の2週間前の10:00から受付。
混雑緩和のため、展示室の観覧について日時指定予約を導入しています。詳しくはホームページをご覧ください。

●37.5度以上の熱がある方、風邪の症状がある方は入館いただけません。●入館時には、マスクの着用をお願いします。●2歳未満は除く。●手洗い、手指の消毒をお願いします。●館内では周りの方と十分な距離を保つようご協力をお願いします。●館内は滞留人数を制限しています。混雑時には入場を制限させていただく場合があります。

2023.1.13 fri GRAND OPEN

静岡、歴史の門が開く。



紅糸威服巻復元模造
原資料は静岡浅間神社所蔵



東照大権現像(部分) 静岡市所蔵

家康に会いにゆく



伊予札黒糸威丸具足(歯突具足) 復元模造
原資料は久能山東照宮博物館所蔵

歴史探求、地域学習の基地として
さまざまな人が交流する拠点として
静岡市の新しい歴史が、はじまります。



徳川家達筆 扁額「彰往考来」静岡市所蔵

静岡の歴史を見つめ、未来を考える。

静岡市歴史博物館の基本展示は、静岡発展のキーマン、徳川家康を中心に展開します。歴史上の足跡だけでなく、身につけた武具から日々の行動まで、様々な視点で家康を見つめ、駿府から世界を視野に活動した、その人生と人物像に迫ります。

また、家康を育てた駿河の戦国大名・今川氏についても常設コーナーで紹介するほか、家康以降の東海道の賑わい、清水港の発展、明治に再び駿府に移った徳川家との縁などを踏まえ、駿府から現在の静岡へ至る発展の歩みをご紹介します。

静岡市役所に伝わった「彰往考来」の扁額は、最後の静岡藩主となった徳川家達の筆。「過去のできごとを探求し、よりよい未来へのヒントを得る」という思いを込め、歴史博物館が果たすべき役割のシンボルとして展示室に掲げられます。

新たなランドマーク

博物館の設計は、金沢21世紀美術館、ルーブル美術館別館などを手掛けたSANAA建築事務所。城下から二ノ丸へ続く雁行動線を建物内部まで立体的に延長し、市街と駿府城公園を結ぶ「人の道」を形成します。漆喰調塗装とアルミエキスパンドメタルの外装、1階外周のガラスと木製建具は、歴史的景観と、街に開かれた博物館の印象を醸し出します。



徳川家康像 宝台院所蔵 静岡市指定文化財(部分)

開館記念 企画展

徳川家康と駿府

2023 1.13 fri → 2.26 Sun

観覧料

企画展示 + 基本展示 ▶ 一般 1,000円 / 高校生・大学生・市内70歳以上 700円 / 市外小中学生 250円

※団体料金あり。※基本展示も併せてご覧いただけます。※一般の方以外は、学生証等をお持ちください。

江戸期260年の太平をもたらした徳川家康は、生涯の1/3にわたる長い期間、駿府を拠点としていました。特に天下の最高権力者「大御所」として過ごした9年余りは、東アジアとの緊張緩和、公家をも支配下に置く秩序の構築など、一生のうち最も雄大なミッションに臨んだ活動期でした。その巨大な輝きが、駿府城下の暮らし、多くの寺社、そして郊外の集落にまで遺した記憶と陰影を、静岡一円に現存する家康ゆかりの資料から考えます。家康自筆と伝わる肖像や、着初めの腹巻の実物も公開します。

1F 土地の記憶、新たな交流

「戦国時代末期の道と石垣の遺構」

館のシンボルとなる、本物の戦国の道です。全長33mにわたり発見された「静岡市街のルーツ」ともいえる遺構を、発掘された姿のまま常時公開しています。

ギャラリー

静岡市域で古代から続いてきた人の営みを象徴する遺物レプリカと、100年前の名所紹介絵図で、この地の時間の流れと空間の広がりを感じていただくエリアです。

学習支援・市民活動スペース

学芸員トークや研究発表、ワークショップなどを毎週末に開催する広場です。気軽な雰囲気の中で、歴史や地域のテーマに探求や学びを深められます。

※1Fは、グランドオープン後も無料でご入館いただけます。



戦国時代末期の道と石垣の遺構



駿府城下町割絵図 静岡市所蔵

2F 家康の一生と、「首都」になった駿府

着初めと伝わる腹巻と、天下取りに臨んだ齒朶具足、家康がのこした2領の鎧を当時と同じ手法で復元模造。書状、肖像、外交の記録などとあわせ、戦乱の時代を終結させた家康の人物、風貌を想起させる展示を構成します。東海の覇者として駿府繁栄の基礎を築き、家康を育てた今川氏の発展と治世も取り上げます。



桶狭間今川義元血戦 静岡市所蔵

3F 東海道のにぎわい、駿府の人々

天下普請の巨城を中心に、駿府は東海道の拠点として繁栄しました。幕府にとっても特別な町とされた城下の生活、産業、祭礼の記録などから、培われた文化をひも解きます。そして明治、徳川家と共に移住した元幕臣らによる先進的な政策や、海外貿易と共に発展した清水港、戦後の市街地復興などを辿り、町の未来へ期待膨らむ物語としてご紹介します。



今川義元木像 複製 静岡市所蔵
原資料は臨濟寺所蔵

特別講演会 /

2月11日(土) 13:00~16:00

「大御所徳川家康、駿府に移る」

家康が駿府を拠点として行った政治、政権の知られざる姿を、家康研究の第一人者と、企画展担当の学芸員が熱く語ります。

会場 | 葵生涯学習センター ホール

講師 | 本多隆成さん(静岡大学名誉教授)、廣田浩治(当館学芸員)

定員 | どなたでも150人

申込 | 1/7(土)10:00~ 電話で静岡市歴史博物館へ申込み(申込順)



紅糸威腹巻 静岡浅間神社所蔵 / 静岡県指定文化財